



誰もが住んでみたい村に  
農業農村整備

令和6年度

沖永良部農業水利事業

沖永良部地下ダム技術検証業務

# 積 算 書

(当初)

九州農政局  
沖永良部農業水利事業所

九州農政局

九州農政局

九州農政局

九州農政局

九州農政局

九州農政局

[illegible]

九州農政局

九州農政局

事業名	沖永良部農業水利事業
業務名	沖永良部地下ダム技術検証業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 1号 ***					
S63003	資料の収集及び検討		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	1.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 ( A )	1.000	人	57,000	57,000	
R04006	技師 ( C )	1.000	人	38,400	38,400	
	合 計				160,200	算出数量 1.000 式
	単 価		式		160,200	
	*** S単 - 2号 ***					
S63003	委員会資料の作成・準備		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	4.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 ( A )	2.000	人	57,000	114,000	
R04006	技師 ( C )	4.000	人	38,400	153,600	
	合 計				332,400	算出数量 1.000 式
	単 価		式		332,400	
	*** S単 - 3号 ***					
S63003	委員会の運営		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	5.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	5.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	15.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師	5.000	人	64,800	324,000	
R04004	技師 ( A )	5.000	人	57,000	285,000	
R04006	技師 ( C )	15.000	人	38,400	576,000	
	合 計				1,185,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,185,000	
	*** S単 - 4号 ***					
S63003	高透水箇所対策工による浸透抑制効果の評価		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	

事業名	沖永良部農業水利事業
業務名	沖永良部地下ダム技術検証業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師 A の人数	3.00人				
	5)技師 B の人数	0.00人				
	6)技師 C の人数	4.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		2.000	人	64,800	129,600	
R04004	技師 ( A )					
		3.000	人	57,000	171,000	
R04006	技師 ( C )					
		4.000	人	38,400	153,600	
	合 計				454,200	算出数量 1.000 式
	単 価		式		454,200	
	*** S 単 - 5号 ***					
S63003	点検取りまとめ		式		1.000 式	歩 A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師 A の人数	2.00人				
	5)技師 B の人数	0.00人				
	6)技師 C の人数	6.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 ( A )					
		2.000	人	57,000	114,000	
R04006	技師 ( C )					
		6.000	人	38,400	230,400	
	合 計				409,200	算出数量 1.000 式
	単 価		式		409,200	
	*** S 単 - 6号 ***					
S63010	打合せ ( 設計業務基準日額 )		回		1.000 回	歩 A 当たり算出
	打合せ ( 設計業務基準日額 ) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)打合せ	着手前・最終		深夜時間:0.0		
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師 ( A ) 人数	1.00人				
	5)設計用技師 ( B ) 人数	0.00人				
	6)設計用技師 ( C ) 人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.000日				
R04003	主任技師					
		0.500	人	64,800	32,400	
R04004	技師 ( A )					
		0.500	人	57,000	28,500	
	合 計				60,900	算出数量 1.000 回
	単 価		回		60,900	
	*** S 単 - 7号 ***					
S63010	打合せ ( 設計業務基準日額 )		回		1.000 回	歩 A 当たり算出
	打合せ ( 設計業務基準日額 ) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)打合せ	中間		深夜時間:0.0		
	3)設計用主任技師人数	0.00人				
	4)設計用技師 ( A ) 人数	1.00人				
	5)設計用技師 ( B ) 人数	1.00人				
	6)設計用技師 ( C ) 人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.000日				
R04004	技師 ( A )					
		0.500	人	57,000	28,500	
R04005	技師 ( B )					
		0.500	人	47,200	23,600	

事業名	沖永良部農業水利事業
業務名	沖永良部地下ダム技術検証業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	合 計				52,100	算出数量 1.000 回
	単 価		回		52,100	
	*** S単 - 8号 ***					
S63010	ダム技術検討委員会出席（設計業務基準日額）		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ（設計業務基準日額） 一般工種,中間,1.00人,0.00人,0.00人,1.00人,1日,1日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)打合せ	中間		深夜時間:0.0		
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	0.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	1.00人				
	7)打合せ日数	1.000日				
	8)往復移動日数	1.000日				
R04003	主任技師	2.000	人	64,800	129,600	
R04006	技師(C)	2.000	人	38,400	76,800	
	合 計				206,400	算出数量 1.000 回
	単 価		回		206,400	
	*** S単 - 9号 ***					
S63010	ダム技術検討委員会幹事会出席（設計業務基準日額）		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ（設計業務基準日額） 一般工種,中間,1.00人,0.00人,0.00人,1.00人,1日,1日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)打合せ	中間		深夜時間:0.0		
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	0.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	1.00人				
	7)打合せ日数	1.000日				
	8)往復移動日数	1.000日				
R04003	主任技師	2.000	人	64,800	129,600	
R04006	技師(C)	2.000	人	38,400	76,800	
	合 計				206,400	算出数量 1.000 回
	単 価		回		206,400	
	*** S単 - 10号 ***					
S63010	ダム技術検討委員会個別説出席（設計業務基準日額）		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ（設計業務基準日額） 一般工種,中間,1.00人,0.00人,0.00人,1.00人,0.25日,0日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)打合せ	中間		深夜時間:0.0		
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	0.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	1.00人				
	7)打合せ日数	0.250日				
	8)往復移動日数	0.000日				
R04003	主任技師	0.250	人	64,800	16,200	
R04006	技師(C)	0.250	人	38,400	9,600	
	合 計				25,800	算出数量 1.000 回
	単 価		回		25,800	
	*** S単 - 11号 ***					
S63017	旅費交通費（ダム技術検討委員会出席）		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費（設計外業宿泊用） 乙地,一般交通機関,1.00日,0日,,なし,100km L（100km以上）			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)宿泊地	乙地		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)交通機関区分	一般交通機関				

事業名	沖永良部農業水利事業
業務名	沖永良部地下ダム技術検証業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	3)高速道路往復料金(税別)	0円		深夜時間:0.0		
	4)鉄道往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	5)バス往復料金[全員分合算](税別)	6,010円				
	6)船舶往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	7)航空往復料金[全員分合算](税別)	223,144円				
	8)往復移動日数	1.00日				
	9)ライトバン使用日数	0日				
	11)補正区分	なし				
	12)技師長外業日数	0.000日				
	13)主任技師外業日数	1.000日				
	14)技師 A 外業日数	0.000日				
	15)技師 B 外業日数	0.000日				
	16)技師 C 外業日数	1.000日				
	17)技術員外業日数	0.000日				
	18)往復移動距離区分	100km L (100km以上)				
P54202	設計用主任技師日当 消費税抜き	2.000	人	2,363	4,726	
P54205	設計用技師( C )日当 消費税抜き	2.000	人	2,000	4,000	
P54002	設計用主任技師宿泊費 (乙地)消費税抜き(7級相当)	1.000	人	10,727	10,727	
P54005	設計用技師( C )宿泊費 (乙地)消費税抜き(3級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54303	バス料金 消費税抜き	1.000	式	6,010	6,010	
P54305	航空料金 消費税抜き	1.000	式	223,144	223,144	
	合 計				257,516	算出数量 1.000 式
	単 価		式		257,516	
	*** S 単 - 12号 ***					
S63017	旅費交通費(ダム技術検討委員会幹事会出席)		式		1.000 式	歩 A 当たり算出
	旅費交通費(設計外業宿泊用) 乙地,一般交通機関,1.00日,0日,,なし,100km L (100km以上)			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)宿泊地	乙地		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)交通機関区分	一般交通機関		深夜時間:0.0		
	3)高速道路往復料金(税別)	0円				
	4)鉄道往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	5)バス往復料金[全員分合算](税別)	6,010円				
	6)船舶往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	7)航空往復料金[全員分合算](税別)	223,144円				
	8)往復移動日数	1.00日				
	9)ライトバン使用日数	0日				
	11)補正区分	なし				
	12)技師長外業日数	0.000日				
	13)主任技師外業日数	1.000日				
	14)技師 A 外業日数	0.000日				
	15)技師 B 外業日数	0.000日				
	16)技師 C 外業日数	1.000日				
	17)技術員外業日数	0.000日				
	18)往復移動距離区分	100km L (100km以上)				
P54202	設計用主任技師日当 消費税抜き	2.000	人	2,363	4,726	
P54205	設計用技師( C )日当 消費税抜き	2.000	人	2,000	4,000	
P54002	設計用主任技師宿泊費 (乙地)消費税抜き(7級相当)	1.000	人	10,727	10,727	
P54005	設計用技師( C )宿泊費 (乙地)消費税抜き(3級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54303	バス料金 消費税抜き	1.000	式	6,010	6,010	
P54305	航空料金 消費税抜き	1.000	式	223,144	223,144	
	合 計				257,516	算出数量 1.000 式
	単 価		式		257,516	
	*** S 単 - 13号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1.000 式	歩 A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1, A - 4,1000,5cm,0			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)報告書部数(部)	1.000		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)規格区分	A - 4		深夜時間:0.0		
	3)枚数区分(枚)	1000				
	4)厚さ区分	5cm				

九州農政局

九州農政局

令和6年度沖永良部農業水利事業  
沖永良部地下ダム技術検証業務

特別仕様書

九州農政局  
沖永良部農業水利事業所

## 第1章 総則

### 第1-1条（適用範囲）

令和6年度沖永良部農業水利事業 沖永良部地下ダム技術検証業務の施行にあたっては、農林水省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

### 第1-2条（目的）

本業務は、国営沖永良部農業水利事業により造成された沖永良部地下ダムについて、学識経験者による指導・助言を得るための沖永良部地下ダム技術検討会（以下、「委員会」という）の運営、委員会資料の作成を行うものである。

### 第1-3条（場所）

本業務位置は、鹿児島県大島郡知名町及び和泊町地内であり、別紙1「位置図」に示すとおりである。

### 第1-4条（一般事項）

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- （1）受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中であっても監督職員が資料の提出を求めたときは、速かにこれに応じるものとする。
- （2）本特別仕様書及び共通仕様書に明記されていない事項であっても、本業務実施上、特に判断を要するものは監督職員の指示を受けるものとする。

### 第1-5条（管理技術者）

管理技術者は、共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選 択 科 目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木又は農業農村工学
	農業	農業土木又は農業農村工学
	建設	河川、砂防及び海洋・海岸
博士	農学	
シビルコンサルティング マネージャー	農業土木	
	河川、砂防及び海洋・海岸	

### 第1-6条（担当技術者）

担当技術者は、共通仕様書第1-8条によるものとする。

### 第1-7条（配置技術者の確認）

共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- （1）受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。

- (2) 農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とし、事前に監督職員の承認を得るものとする。

#### 第1－8条（保険加入）

受注者は、共通仕様書第1－37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

## 第2章 設計作業条件

#### 第2－1条（設計条件）

設計作業における設計条件は次のとおりである。

施 設 名：沖永良部地下ダム  
形 式：止水壁天端全面越流方式  
流 域 面 積：13.26km<sup>2</sup>  
満 水 面 積：0.98km<sup>2</sup>  
総 貯 水 量：1,085,000m<sup>3</sup>  
有効貯水量：596,000m<sup>3</sup>  
常時満水位：EL.19.00m  
利 用 水 深：9.5m  
堤 高：48.2m  
堤 長：2,669.4m  
堤 頂 幅：0.5m  
堤 体 積：41,800m<sup>3</sup>

#### 第2－2条（参考図書）

設計作業の参考にする図書は、共通仕様書第2－1条によるものとする。

#### 第2－3条（貸与資料）

貸与資料は次のとおりである。

分 類	資 料 名	数 量
設 計	沖永良部地区全体実施計画書	一式
	令和5年度沖永良部地下ダム施工技術検証業務報告書	一式
その他	その他参考となる資料	一式

#### 第2－4条（参考図書及び貸与資料の取扱い）

第2－2条、第2－3条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- (1) 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

- (2) 参考図書は、設計作業時点の最新版を用い設計作業中に改訂された場合には、監督職員と協議するものとする。
- (3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。
- (4) 貸与資料に不足があった場合については、必要な貸与資料を監督職員に請求するものとする。

## 第2-5条（関連業務）

本業務と関連する他業務又は工事は次のとおりであり、監督職員及び関連業務・工事の管理技術者等と連携を密にして、互いに協調の図られた業務成果としなければならない。

業務・工事名	履行期間	備 考
令和6年度沖永良部農業水利事業 地下ダム施工技術検討業務	令和6年5月14日 ～令和7年3月14日	
令和6年度沖永良部農業水利事業 地下水位観測等調査業務	令和6年4月19日 ～令和7年3月19日	
令和5年度沖永良部農業水利事業 地下ダムグラウチング工事	令和5年10月16日 ～令和6年7月11日	
令和6年度沖永良部農業水利事業 地下ダムグラウチング（その2）工事	令和6年8月 ～令和7年3月（予定）	

## 第3章 設計作業内容

### 第3-1条（設計作業項目及び数量）

本業務における作業項目及び数量は、次のとおりである。

別紙-2「設計作業項目内訳表」（該当項目）に○印で示すものとする。

作 業 項 目	数量	備 考
1. 資料の収集及び検討	1 式	
2. 委員会資料の作成・準備		
(1) 技術調査・検討経緯表の作成	1 式	
(2) 資料準備及び検討	1 式	
3. 委員会及び個別説明の運営		
(1) 沖永良部地下ダム技術検討委員会及び幹事会の運営	1 式	各 1 回開催
(2) 沖永良部地下ダム技術検討委員会（個別説明）の運営	1 式	2 回開催
4. 高透水箇所対策工による浸透抑制効果の評価	1 式	
5. 点検とりまとめ	1 式	

### 第3-2条（設計作業の留意点）

設計作業の実施に際し特に留意する点は、次のとおりとする。

- (1) 第2-2条、第2-3条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。

(2) ダムの技術的課題に対する学識経験者の選定

委員会及び個別説明の委員の選定にあたっては、様々な分野（ダム工学、地盤工学、地下水学、地質学、水資源学等）から5名（委員長1名、委員4名）を選出しするものとする。

(3) ダム技術検討委員会資料作成に関連する委員会等の開催予定時期及び場所は次のとおりであり、委員旅費等の必要な経費についても支払うものとする。

区 分	予定時期	予定場所	備 考
第1回幹事会	第2四半期	鹿児島県知名町	農林水産省、九州農政局職員で構成
第1回委員会	第3四半期	鹿児島県知名町	
個別説明	第3・4四半期	WEB会議方式	

## 第4章 打合せ

### 第4-1条（打合せ）

共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階に行う予定としており、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初 回 業務計画書作成段階〔ウェブ会議〕

第2回 中間打合せ（第1回委員会段階）〔ウェブ会議〕

最終回 報告書原稿作成段階〔ウェブ会議〕

業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度、内容について監督職員と相互に確認するものとする。

なお、打合せはウェブ会議方式によるものとするが、必要がある場合は監督職員と協議の上、対面による打合せに変更することができる。

## 第5章 成果物

### 第5-1条（成果物）

本業務は電子納品対象業務とする。成果物を共通仕様書第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

(1) 成果物の電子媒体（CD-R又はDVD-R）正副2部

(2) 成果物の出力 1部（電子媒体の出力、市販のA4ファイル綴じで可）

### 第5-2条（成果物の提出先）

成果物の提出先は、次のとおりとする。

鹿児島県大島郡知名町知名85番地

九州農政局 沖永良部農業水利事業所

## 第6章 業務管理

### 第6－1条（情報共有システム）

- （1）本業務は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、事務の効率化を図る情報共有システムの対象業務である。
- （2）情報共有システムは、「工事及び業務の情報共有システム活用要領」（<https://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/ASP/index.html>）によるものとする。
- （3）受注者は、発注者から技術上の問題の把握、利用にあたっての評価を行うために聞き取り調査等を求められた場合、これに協力しなければならない。

## 第7章 契約変更

### 第7－1条（契約変更）

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- （1）第3－1条に示す「設計作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- （2）第4－1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- （3）第5－1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- （4）履行期間の変更が生じた場合。
- （5）関係機関等対外的協議等により設計計画等に変更が生じた場合。
- （6）その他

## 第8章 定めなき事項

### 第8－1条（定めなき事項）

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

## 【作業項目内訳表】

作業項目	作 業 内 容	作業実施欄	
		当初	
1 資料の収集及び検討	貸与資料等を整理及び内容を把握し、作業計画を作成する。	○	
2 委員会資料の作成・準備			
2-1 技術調査・検討経緯表の作成	沖永良部地下ダム技術検討委員会に先立ち、幹事会前までに技術調査・検討経緯表（様式－2）を作成する。 作成回数：1回	○	
2-2 資料準備	沖永良部地下ダム技術検討委員会幹事会及び委員会（以下「幹事会」又は「委員会」という）、沖永良部地下ダム技術検討委員会（個別説明）（以下「個別説明」という）において、検討要旨（様式－4）及び添付図面集資料を印刷する。 幹事会資料部数：25部 委員会資料部数：27部 個別説明資料部数：10部	○	
3 委員会及び個別説明の運営			
3-1 沖永良部地下ダム技術検討委員会及び幹事会の運営	沖永良部地下ダム技術検討委員会幹事会及び委員会（以下「幹事会」又は「委員会」という）を運営する。  ①幹事会、委員会の会場設営、資料準備 ②委員会の運営、検討結果のとりまとめ、議事録作成  幹事会開催予定時期：第2四半期 委員会開催予定時期：第3四半期 幹事会及び委員会は、現地調査会議方式を予定している。 また、幹事会及び委員会に係る諸経費は直接人件費に含むものとする。	○	
3-2 沖永良部地下ダム技術検討委員会（個別説明）の運営	沖永良部地下ダム技術検討委員会（個別説明）（以下「個別説明」という）を運営する。  ①個別説明の設営、資料準備 ②個別説明の運営、議事録作成  個別説明開催予定時期：第3四半期、第4四半期 個別説明は、WEB会議方式を予定している。 また、個別説明に係る諸経費は直接人件費に含むものとする。	○	
4 高透水箇所対策工による浸透抑制効果の評価	沖永良部地下ダム技術検討委員会の検討結果及び貸与資料を基に、余多川左岸部における高透水箇所対策工の浸透抑制効果を評価するものとする。	○	
5 点検とりまとめ	各作業項目の成果物の点検とりまとめを行い、報告書を作成する。	○	

国営沖永良部土地改良事業

一般計画平面図

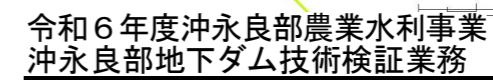


凡 例	
	畑地かんがい区域
	普通畑
	集水区域
	貯水区域
	地下ダム
	取水施設(集水井)
	吐水槽
	国営ファームボンド
	国営用水路
	県営揚水機場
	県営ファームボンド
	県営用水路
	県営調整池
	県営中継槽
	湧水(県営水源)

令和6年度沖永良部農業水利事業  
沖永良部地下ダム技術検証業務

図面番号	図表名称
1	位置図 (1 / 2)

下流



図面番号	図 表 名 称
2	位置図 (2 / 2)